

¥1,000 の図書カードの当たる知得クイズにご応募下さい。高確率で当選します。



みつばち薬局待鳳店
京都市北区紫竹西南町 66
494-1788 FAX494-1566

みつばち薬局紫野店
京都市北区紫野上築山町 2-2
417-3911 FAX417-3910

<http://www.kyoto-pharmacy.net/mitubati/> E-mail:pharma@kyoto-pharmacy.net

東日本大震災に被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

みつばち薬局では、全日本民医連を通じて被災者支援活動に取り組んでいます。



みつばち薬局では、3月11日の東日本大震災直後から、京都民医連の事業所と協力して被災地への支援活動に取り組んできました。医薬品・介護用品等の物資を送り、また、事業所として120万円の義援金を拠出しました。

4月29日から5月4日までの6日間、紫野店の吉田芙美子薬剤師が、現地の医療支援に参加して参りました。(写真はその時撮影したものです)



地の医療支援に参加して参りました。(写真はその時撮影したも



皆様にご協力いただいた支援カンパは全日本民医連全体で3億4千万円(7月13日現在)を超え、その全てが被災者および復旧・復興に有効に使われるよう、被災自治体義援金配分委員会を通じて被災者に直接届ける、被災事業所への支援物資、事業所復旧のための支援、ゲルマニウム半導体測定器(あらゆる核種の線量測定可能)の購入運動への支援や現地の事業所へのサーベイメー

ター(放射線量測定器)寄贈などに活用しました。また、医薬品・医材を含む数百トンの物資支援を行い、被災地への直接支援だけで実人員で医師500人、薬剤師140人を含む3000人、延べ15,000人が支援を行いました。

京都民医連の震災支援実績

医師18名、歯科医師2名を含む108名、延べ510日
義捐金 24,143,834円 (7月29日現在)

安全・安心の日本を! 地球を!
原発「0」へ、運動を進めましょう!

原発事故災害は4ヶ月以上経た今も収束しておらず、多くの福島県民の生活を奪い、国民に不安を与えつづけています。一度、原発は事故が起きれば「制御」が効かず、使用済み核廃棄物の

¥1,000 の図書カードの当たる知得クイズにご応募下さい。高確率で当選します。

処理技術さえない危険極まりないものです。安全な原発は存在しません。今回の事故で「安全神話」は完全に崩れました。この地震列島に 54 基もの



の原発が存在し、さらに建設中・計画が 14 基あります。原発をゼロにし、原発に依存しないエネルギー政策へと抜本的な政策転換を求める運動が必要です。

しかし長年、アメリカに服従し、原発を強力に推進してきた自民党・公明党から国民への謝罪は一切ありません。また、民主党や政府、財界は、これまでの原発依存政策を変えようとしなければ、何の根拠も示さず安全が確認されたとして停止中の玄海原発の稼働を要請しました。これほど無責任なことはありません。

この大震災・原発事故災害は、今までの日本のあり方と舵取りが行き詰まった中で発生したのであり、政府の対応の遅れは「行き詰まった社会の中で、行き詰まった政策をとろうと固執している」（辻井喬氏）ために起こっているのです。阪神淡路大震災では「創造的復興」の名のもと、被災者の苦難をよそに神戸空港建設に象徴される経済復興が優先されました。復興を口実にこれまでの「構造改革」を無反省に加速するような舵取りを許してはなりません。震災の復旧・復興をすべての被災者の救援、住み続けられるまちの再生、権利としての社会保障の確立をめざすものとしなければなりません（全日本民医連第 3 回評議員会方針案）。私たちみつばち薬局職員もこうした立場から、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。（文責：事務長 原 龍治）



私は 4 / 28 ~ 5 / 4 の期間、東日本大震災の被災地である宮城県多賀城市に行っていました。

医師や看護師とともに避難所を回り、診察にともなう調剤や薬のチェックなどを行いました。私たちの日常からは想像できないような現状でした。そのため、被災された方が安全で健康な生活をおくれるように、今後も義援金や医療チームの派遣等、様々な形で支援していく必要性を感じました。

被災地では、「不眠」を訴える方が多く、安定剤・睡眠剤の処方もありました。確かに「現在の不眠に対処する」医療・薬物療法は重要なことです。しかし、「不眠の原因」となっていることの中で、大震災による愛する人との離別や様々な喪失感などへの対応は別としても、すべてを失った被災者が、「生きる希望」「未来への夢」を持たない状況に長く置かれていたのでは、どんな人でも不眠になると思います。医療・薬物療法が行う「症状に対する対応」の枠では解決できない「不眠の根本的な問題解決」が必要だと思いました。

被災した方々が復興への希望や勇気を持てるように「社会の力・政治の力」で解決し実現する事が多いと思いました。

みつばち薬局紫野店 吉田英美子

¥1,000 の図書カードの当たる知得クイズにご応募下さい。高確率で当選します。

緊急時にも安心！

知得ページ

あなたを守る お薬手帳

あなたの「薬のマイカルテ」

お薬手帳は、あなたが現在までに服用したお薬の名前や服用量、過去に経験した副作用などを継続的に記録した手帳です。あなたの服用する薬の重要な情報が詰まった「薬のマイカルテ」です。



「いざ」の時 雄弁な「お薬手帳」



お薬手帳の利点は、お薬に関して どんな薬を いつから どのくらいの量で飲んでいるのか が、誰が見てもすぐ分かることです。

複数の医療機関・医師にかかっている場合には、同じ種類の薬の重複がないか、また飲み合わせの悪い薬がないかなどのチェックができます。病院や薬局ごとに別々の手帳を使い分けると、お薬の飲み合わせや重複など、医療上必要なチェックができません。

保険証や診察券などと一緒にお使い下さい。

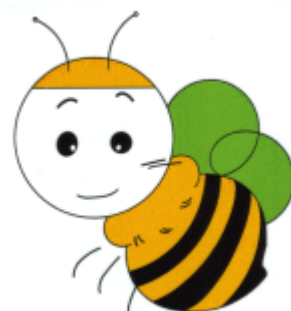
万が一、外出先での急な病気、また事故や災害などと、非常時に、お薬手帳を携帯していれば（もし意識不明でも）初めて診てもらう医師にも、いつも服用している薬の内容がわかり、救急の診断・処置が円滑に行えます。

東日本大震災の直後、現地では、「お薬手帳」を「処方箋代わり」として扱うことが許可され、お薬手帳を持っていた人には、継続して服用しなければならない療養上必要な医薬品をスムーズに提供することができました。

自分で書き込み有効活用 手帳を有効に活用するには、普段から療養上気になることを書き込んでおくことで、医師や薬剤師に普段の療養状況が伝わり、療養に重要な情報が医師や薬剤師と共有でき、治療や副作用の防止に大変役立ちます。

お薬手帳は、どこの薬局でもお渡ししています。

お薬手帳を大切に、有効にご活用下さい。



¥1,000 の図書カードの当たる知得クイズにご応募下さい。高確率で当選します。



八木さん宅のナミちゃん
人懐っこい子ですが、最近
は涼しい場所で横になって
います。毛がフサフサだから
余計に暑いのかな？

これが我が家の・・・
かわい家族

みつばち薬局 知得クイズ

下の 5問に「ウソ(間違っている)」「ホント(真実)」でお答え下さい。

問題が「ホント」と思ふ場合は「ウソ」だと思ふ場合は×を解答欄に記入して下さい。 全問正解者(全問正解者が少ない場合は応募者)の中から、抽選で 10名様に図書カード(1,000円)を差し上げます。 当選者の発表は、薬局内に掲示します。 締切り日:10月1日(土) 薬局内の「クイズ応募箱」に入れてください。

問 1:みつばち薬局から吉田芙美子薬剤師が被災地に支援に行った場所は、宮城県南三陸町である。

問 2:お薬手帳は、東日本大震災で処方箋の代わりとして使用された。

問 3:八木さん宅のナミちゃんは毛の短い猫である。

問 4:自分が飲んでいる薬が自分自身でわかっていれば、お薬手帳は必要ない。

問 5:お薬手帳は、病院や診療所、薬局で同一の手帳を提出、記載し活用するものである。

ご住所: _____

お名前: _____ 電話番号: _____

問題	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
解答欄					